

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第6回津市行財政改革推進委員会
2. 開催日時	平成18年12月1日(金) 午後3時から午後5時25分まで
3. 開催場所	津市本庁舎4階庁議室
4. 出席した者の氏名	(津市行財政改革推進委員会委員) 中山委員長、赤塚委員、井ノ口委員、宇野委員、鈴木委員、千原委員、中井委員、中村委員 (事務局) 渡邊助役、藤原助役、宮武市長公室長、大市健康福祉部長、葛西市長公室次長、酒井行政経営課長、溝田担当副主幹、山下担当副主幹、森主査、臼井主査
5. 内容	(1) 行財政改革に係る検討 (2) その他
6. 公開又は非公開	公開
7. 傍聴者の数	0人
8. 担当	市長公室行政経営課行政経営担当 電話番号 059-229-3273 E-mail 229-3273@city.tsu.lg.jp

・ 議事の内容 下記のとおり

行政経営課長 津市行財政改革推進委員会第6回会議の開催を述べる。

中山委員長 会議の開催の前にあいさつを述べる。

本日、二神委員、山口委員の会議欠席を報告する。

本日の会議に関する議事録の署名については、名簿順で赤塚委員と千原委員をお願いをする。

会議の事項に入る前に本日配付している資料について確認をする。

資料「行財政改革推進委員会における主な意見(第1回～第5回議事録より抜粋)」は、これまでの推進委員会において、みなさまの議論を体系別に整理し直し、またいくつかの体系にまたがる、総論的なものについては、総論として最初の部分で取り扱っている。

資料「参考1-1 津市行財政改革大綱及び集中改革プランの策定に向けて」「1-2 津市行財政改革大綱及び集中改革プランにおける記載例」「1-3 津市行財政改革大綱及び集中改革プランの策定及び進行管理について」は、私たちが行おうとしている答申と市の行財政改革の動きが、やや分かりにくいと思いましたが、事務局に指示をして、答申と大綱、市が行おうとしている今後の行財政改革のイメージを整理したものである。

資料「参考1-1」～「参考1-3」の説明を事務局に求める。

行政経営課長 参考資料から答申と行財政改革大綱、集中改革プラン等のイメージ及びスケジュール等について説明を行う。

中山委員長 3月に大綱等が策定され、それ以降の推進委員会との関わりはどうか。

行政経営課長 推進委員会の任期は2年間である。来年度は、策定された行財政改革大綱と集中改革プランの進捗状況を報告するとともに、新市を管理、運営していく仕組みの構築に関し、協議していただく。

鈴木委員 市議会において行財政改革特別委員会が設置されたが、そちらとこの推進委員会と関係はどうか。

行政経営課長 議会の方で自主的に調査・研究していくために設置された特別委員会である。

先日、第1回の委員会が開催され、これまでの行財政改革の取組の進捗状況、内部の推進本部の状況、当推進委員会の会議の状況の説明を行った。その後、特別委員のみなさんにより今後の調査・研究の方針等について協議されたと聞いている。

鈴木委員 特別委員会のみなさんは、この推進委員会の内容は全て知っているのか。

行政経営課長 推進委員会の資料等は全て市議会にっており、今後も随時、説明を行っていく。

また、答申を頂いた後、大綱の素案ができれば、市議会に説明をしていく。

中山委員長 では、資料を基に、私と井ノ口委員とで取りまとめた答申案の6つの諮問項目について、個々に議論を進めていく。

まず、答申を行うに際して、私たち推進委員会が行政に伝えるべき思いの部分である「総論」について説明をする。

皆様の意見の中には、「市民に分かりやすく」とか「全職員が情報の共有による一体となった推進体制」といった意見が見受けられたことを踏まえ、取りまとめた。

総論として、全体を包含する意味あいも有り、現段階としてはこのような趣旨の項目があるといった御理解をしていただき、全ての項目の協議が終わった段階で、加味する点が出てこようかと思われることから、続けて各項目について説明を行う。

続いて、諮問された項目1「効率的な事務事業の在り方」の検討項目1

から5について、皆様の意見の中には、「事務事業の見直しに係る判断の基準」や「本庁と総合支所」等に関わっての御意見が見受けられたことを踏まえ、取りまとめた。

諮問された項目2「民間の活用の在り方」の検討項目1から4について、皆様の意見の中には、「施設管理への民間活用」「施設の空スペースの有効活用」「外郭団体の経営状況の把握」等についての意見が見受けられたことを踏まえ、取りまとめた。

諮問された項目3「定員管理の在り方」の内、検討項目1から4について、皆様の意見の中には、「職員数2,500人体制」や「人材育成の在り方」等についての御意見が見受けられたことを踏まえ、取りまとめた。

諮問された項目4「健全な財政運営の在り方」の内、検討項目1から4について、皆様の意見の中には、「行財政改革を進めるにあたっては、経常収支比率等の財政指標を示すべきである」とか、「補助金の見直しに際しては、対象となる団体への十分な説明」等についての意見が見受けられたことを踏まえ、取りまとめた。

諮問された項目5「電子自治体に向けた行政運営の在り方」の内、検討項目1、2について、皆様の意見の中には、「IT化の推進にあっても、市民が利用する部分のアナログ化の両方の長所を生かした」等とか「電子自治体の構築は庁舎内部の効率化には有効である」等との意見が見受けられたことを踏まえ、取りまとめた。

諮問された項目6「その他本市の行財政改革の推進に関する重要事項」の内、検討項目1「モーターボート競走場経営改善に向けた検討」、2「三重短期大学の今後の在り方」について、皆様の意見の中には、「モーターボート競走場経営改善に向けた検討」に係わっては、「今の津市民が何を求めているのかを大切に」等の御意見が、「三重短期大学の今後の在り方」については「魅力あるカリキュラム」や「2部だけでなく大学全体の運営を考えるべき」等との意見が見受けられたことを踏まえ、取りまとめた。

以上で、これら取りまとめたものを説明したが、我々がこれから行っていくようにしている行財政改革についての答申は、市がこれから進めていくようにする行財政改革の基本的な方向性を示そうとするところのものである。

そのことを、踏まえた上で、総論の部分と6つの項目に沿って御意見を頂きたいと思う。

なお、本日の議論だけでは、議論をしつくせるものではないと思うので、議論のしつくせなかった部分については、事務局まで御意見を頂き、次回開催予定の会議につなげていきたいと考えている。

鈴木委員

総務省から指示されている経常収支比率や起債制限比率などの枠組みについて、表現はどうするのか。

定員管理の適正化に関する検討の中で、「平成27年度の目標である職員

数 2,500 人体制」の「平成 27 年度」と以前出されたシミュレーションの「平成 28 年度」の数字が異なっているので表記のすり合わせをした方が良いのではないか。

また、歳出カットの表現が全然出てこないことについてはどうなのか。

中村委員

説明を聞いた中で、何も目新しいものがないと思う。

各委員の意見が入っているが、このようなことは、今まで市で行ってきたのではないかと感じる。例えば、極端なことを言えば、「モーターボート競走場の健全経営の実施」ということよりも、むしろ「廃止の方向も含めて検討」などの話が入らないのかと感じた。

中山委員長

今回取りまとめたものは、今まで会を重ねた中で出てきた意見を全体の中で捉えたものであり、このような意見が出てくるとの想定から、2 人の意見、また、みなさんの意見等を踏まえ、取りまとめたものに反映し、修正していく。

事務局に、総務省の枠組みについてと歳出カットについてコメントを求める。

行政経営課長

総務省の集中改革プランにおける項目の設定は、諮問項目に対する項目で確認されている。

また財政的な数字ですが、経費節減の財政効果の中で、特に経常収支比率や公債費比率等について目標設定をすることは述べられていない。ただ財政シミュレーションでも示したように毎年の財政運営の中で、経常収支比率、公債費比率については、危険値を超えない一般的な市町村の指標である適正值を目標とし、健全経営をしていく。

中山委員長

集中改革プランは具体的なものになっていき、この答申案は大きく捉えたものであり、この答申案を受けて集中改革プランが出来るという解釈である。

宇野委員

答申であるので具体的なものは無くて良いのではと考える。

定員管理の在り方について、職員 2,500 人体制のことを考えると市組織の統廃合の部分も必要になってくると思えることから、組織の統廃合の考えを示してはどうか。

健康福祉部長

答申案の説明から、当推進委員会へ提出した資料と比べて、少し厳しく前倒して職員の削減の実現をしなさいという意味に読み取れる。

中山委員長

そのような解釈であるのだが、少し修正しましょうか。

- 鈴木委員 紛らわしいので統一した方が良いと思う。
また、市民からの立場から考えると歳出カット、人員削減、組織の統廃合の方針が出てくることは必要と考える。
- 千原委員 委員が言われていることは、「限られた収入の中であって」という表現に含まれているのかと思う。そこをもう少しインパクトのある表現に代える理解で良いのか。
- 中山委員長 全体的なバランスも考えながらになると思う。
- 千原委員 集中改革プランが戦略的なものであって、そこへどのようなことが入ってくるかが重要である。
- 井ノ口委員 答申について、多分、みなさんは具体性がもう一つであることからイメージ出来ないと思うので、答申等の流れが理解できるような参考資料を事務局に作成してもらった。
6つの項目の諮問に対しての答申になるので、答申では、大きなものの考え方、見方しか書けないと考える。ただその考え方に対して、表記の仕方を厳しい表現にするかどうかはあると思う。
もし答申に具体的な数字を表記するなら、その数字の根拠の説明責任が当推進委員会に求められる。それには物理的に少し時間がないことからこのような形にならざるを得ないと思う。
このことがよく分かる事例が、定員管理のところであって、職員の2,500人体制の話があり、合併協議のときの計画で決めたものであるとの説明があった。行財政改革を進める中で、2,500人の数字が決まっているのではなく、2,400人にも2,300人にもなるかもしれないと思われるので2,500人ありきはおかしいのではという話をさせてもらったが、こちらが何人とすることが言えないことから、答申はこのような表現になると思う。
このような答申を受け、市が大綱を策定し、具体的な数字が入った集中改革プランが作られる。
- 中山委員長 定員管理のところだけ数字が出ているがどうするか。
- 鈴木委員 数字は外した方が良いと思う。
- 鈴木委員 組織の統廃合、歳出のカット、歳入確保などを入れないと危機意識が伝わらないと思う。
- 中村委員 井ノ口委員が言われたように、答申は具体的なものを表記したものでな

くていいのだろうが、集中改革プランを作るときの方向性を示さなければいけないと思う。

しかし、何を作っても答申に合ってくるような気がする。極端な言い方をすれば、これがなくてもプランが作れるように気がしてならない。この答申があったからプランができたという話につながるのか疑問に感じた。

中井委員 「大切である」「重要である」などの表現ばかりであるが、答申には、「こ
うする」「やめる」などの断定的な表現は使わないのか。

井ノ口委員 運営しているのは市であり、執行するのは市側であるので、委員会の立
場からは、「止めることを検討した方が良い」「止めた方が良い」までしか
言えない。

中村委員 外郭団体の在り方等の検討の話は、全体的には良くまとまっていると思
うが、存在意義の検討について、例えば監査委員が行うのか、また出資し
ている団体を所管している所が責任を持って行うのかなど、誰が検討をす
るのかという問題が出てくると思う。各所管で行うとなると、ばらつきが
出てくると思えるので、そのあたりは、注意することが重要である。

井ノ口委員 中村委員が言われるように、各所管に任せるとばらつきが出てくると思
う。だから判断基準となる統一的な「ものさし」が必要になってくると思
う。

出資団体に対しての指導は、まず所管が行う。その中でも差が出てくる
と思うので、そのときは監査委員が指導するようになってくると思う。

千原委員 総論のところ、行財政改革の実現と市民と協働等の言葉を使うと集中
改革プランの中に細かくブレイクダウンされてくるのではないかと考える。

赤塚委員 補助金等の在り方のところで、公益性とはどのように判断するのか。

行政経営課長 前回資料の第5回の資料2の補助金交付基準の「事業の公益性」と「事
業の必要性」から説明を行う。

鈴木委員 総務省の意図する方向を示すような表現を具体的に入れる必要があると
思う。

中山委員長 具体的な言葉ではないが、「経費縮減及び効率化等を踏まえた財政計画
を策定すべきである」表現がそうである。

宇野委員 具体的な言葉は、答申では無理なので、市がこの答申案に基づいて集中改革プランをシビアに作成すれば、相当な計画になるのだろうと思う。

中山委員長 だいたいみなさんの意見は出していただいたと思う。
なお、本日は、限られた時間の中では有りましたが、とりあえず議論を行い同じ方向の意見をいただいたようであり、それらの意見を踏まえて再度資料を整理したいと思う。

しかしながら、限られた時間の中では、なかなか議論がしつくされない部分もあることから、追加意見については、冒頭で説明させていただいたように15日までに、事務局への提出をお願いします。

それらの意見も含めて、12月27日の会議に再提案したいと考えている。

続いて、事項の2「その他」について、事務局に説明を求める。

行政経営課長 次回、第7回の会議に日時について、12月27日（水）午後3時から開催の確認を行う。

渡邊助役 本日は、長時間にわたりどうもありがとうございました。
限られた時間の中、次回、答申を整理していただくということで、大変ありがたく思っております。

本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。

中山委員長 本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。会議を終了する。